

平成24年9月  
第25号

# 自治連だより

発行元 八千代市自治会連合会  
代表者 土門俊和  
編集 八千代市自治会連合会  
編集委員会

## 会長あさひ

八千代市自治会連合会 会長 土門 俊和

日頃は自治会連合会の諸活動はもとより各地域の自治会活動に対し、特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
去る5月27日(日)に開催されました平成24年度の総会に對しましては大変ご多忙の中、豊田市長を始め市の関係職制の方々及び江野沢市議会議長にご出席賜り又、多数の自治会長の皆様にご出席頂き盛大に開催する事ができました。ありがとうございました。

さて、本年2月17日(金)に近隣7市(鎌ヶ谷、船橋、習志野、松戸、浦安市川、八千代)の自治会代表者会議が鎌ヶ谷市で開催されました。テーマは「防災の取り組みについて」各市の状況について説明があり特に液化現象の大きな被害が発生致しました浦安市と習志野市の自治会の活動は大変参考になりました。その中で得られた事は先ずは自助努力(自分の身は自分で守る)及び共助努力(地域は地域の中で守る)でしっかりと地域を守って行かなければならないと考えます。それには遠くの親戚より、近くの他人と良く言われるようにお隣り、ご近所が絆を深め互助互恵の精神でお互いを守って行かなければならないと思えます。それには自治会の活動が必要不可欠であり重要な役割を担って行かなければなりません。

「安全で安心して暮らせる町づくり」をめざし自治会連合会としても行政に対し意見具申をして参りたいと考えております。具体的には各地区で開催いたします市政懇談会(市長との対話活動)を通じ諸問題の改善に取り組んで参ります。  
会員の皆様どうぞ従来に増しましてのご支援、ご協力を賜ります様お願い申し上げます。



## 豊田市長のあさひ

八千代市長 豊田 俊郎

自治会連合会の皆様方には、日頃より市行政の発展にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年3月に発生した東日本大震災は、多方面に亘り、新たな防災対策が求められる契機となりました。本市においても、震災の教訓をもとに「八千代市地域防災計画」の見直しを図っているところです。また、震災に学んだ、人と人とのつながりの大切さ、地域社会における支え合いの重要性を再認識する中、昨年11月には新たに「八千代市コミュニティ推進計画」を策定いたしました。地域が抱える様々な問題や課題の解決に向け、市民と行政が共に支え合いながら取り組みを進めてまいり所存です。

そして何よりも、市民の皆様が、この先も八千代市に住み続けたいと感じてもらえるような、また八千代市民である事に誇りをもてるような街を目指し、皆様の安全と安心を最優先にまちづくりを推進してまいりたいと考えております。そのためには、市と地域の住民組織である自治会の皆様との連携が不可欠でありますので、今後より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 平成24年度

# 自治会連合会総会報告

平成24年度八千代市自治会連合会総会を5月27日(日)、来賓に豊田市長、江野沢市議会議長をお迎えし、市役所2階会議室で開催しました。冒頭に自治会活動の功労者29名の方を自治会連合会として表彰しました。会議は、出席109、委任87、合計196で過半数に達し成立した。議長に横山 大和田新田下区長を選出し、平成23年度事業報告と収支決算、平成24年度事業計画と収支予算、役員改選について審議し、各議案とも賛成多数で承認されました。(詳細は左記に掲載)

## ◆平成23年度 事業報告

平成23年度に実施した主な事業は次のとおりです。

- ▼防犯灯保険に加入  
平成23年7月、自治会が管理する1万3千200本の防犯灯に対し、対人・対物損害賠償保険を掛けました。
- ▼自治連だよりを発行  
第23号(9月)及び第24号(3月)をそれぞれ5万4千部作成し、加入全世帯に配布しました。
- ▼市政懇談会を開催  
平成23年9月～12月にかけて、大和田、高津、緑が丘、睦、阿蘇、村上、八千代台、勝田台の全7地区と役員会で合計8回開催しました。
- ▼講演会を実施  
「災害に備え、今できること」個人で家族で近隣で」をテーマに、防犯組合連合会と合同

## ◆平成23年度 収支決算

収入  
総額は228万6千727円。主な収入は、加入自治会からの会費98万3千330円、市からの補助金30万円、自治連だより広告料などの雑収入24万175円です。

支出  
総額は161万1千310円。主な支出は、会議費用などの総務費に25万4千846円、地区運営会議助成金(16万円)や防犯灯保険(16万2千390円)、自治連だより発行(71万4千円)、講演会費(10万7千16円)などの事業費に

120万4千306円です。なお、収支の差額67万5千417円は平成24年度に繰り越しました。

## ◆平成24年度 事業計画

基本的に、平成23年度とほぼ同様の事業を実施する予定ですが、平成24年度は視察研修を開催する予定です。

## ◆平成24年度 収支予算

平成23年度とほぼ同様の予算で、予算総額は収入支出とも230万6千417円です。

## ◆自治会連合会 表彰

本年度は左記の29名の方を自治会活動の功労者として表彰しました。(敬称略)

- ▼自治会推薦
- ▽石井秀夫(栄町町会)
- ▽岩井理(小坂橋西町会)
- ▽大野剛(緑町自治会)
- ▽金子勝(高津自治会)



八千代で生まれた世界の氷 コクボの

# ロックアイス

小久保製氷冷蔵株式会社

本社 千葉県八千代市村上1739-4 ☎047(484)1169(代表)

ロックアイスは小久保製氷冷蔵(株)の登録商標です。

- ▽越川晃男(八千代台自治会)
- ▽小林富子(米本団地自治会)
- ▽小柳守(緑が丘2丁目自治会)
- ▽高木三恵子(高津東自治会)
- ▽名取隆男(北東自治会)
- ▽宮野哲郎(村上団地北住宅自治会)
- ▼自治会連合会長推薦
- ▽飯野孝(黒沢自治会)
- ▽飯村光一(下宿第2区)
- ▽石川真次郎(仲木戸自治会)
- ▽今井英忠(上宿第2区)
- ▽江坂重春(黒沢東自治会)
- ▽大木茂夫(高津新田自治会)
- ▽岡島英世(神島自治会)
- ▽金森清(小坂橋東町会)
- ▽小谷明夫(上高野原大野自治会)
- ▽島野孝(愛宕自治会)
- ▽滝沢前(東睦自治会)
- ▽武田哲三(北東自治会)
- ▽遠山雅之(黒沢池淵自治会)
- ▽原潔(東山自治会)
- ▽廣瀬萬里(東睦自治会)
- ▽松戸隆(勝田区)
- ▽森務(新高津自治会)
- ▽鷺尾正信(高津ツゲの木自治会)
- ▽渡辺記江(村上市営住宅自治会)

## 平成24年度市政懇談会開催予定

9月15日(土)	9:30	阿蘇地区
9月23日(日)	10:00	八千代台地区
9月29日(土)	10:00	大和田地区
10月6日(土)	10:00	高津・緑が丘地区
10月27日(土)	10:00	勝田台地区
11月3日(土)	10:00	睦地区
11月11日(日)	10:30	村上地区
12月17日(月)	14:00	役員会

八千代市自治会連合会平成24年度役員紹介

- 会長 土門 俊和 (栄町町会)
  - 副会長 伊藤 禎造 (ブルーエイト管理組合自治会)
  - 中台 嶺 (大和田新田上区)
  - 齋藤 勝廣 (島田台区)
  - 山崎 栄四郎 (米本南自治会)
  - 久恒 滋 (村上園地中央住宅管理組合自治会)
  - 山崎 和久 (八千代台東町会)
  - 中原 美明 (サンコーポ勝田自治会)
  - 阿竹 貞樹 (フレッシュタウン自治会)
  - 寺木 善信 (高津園地自治会)
  - 高橋 義博 (花輪区)
  - 黒崎 啓一 (仲新山自治会)
  - 黒澤 実 (逆水区)
  - 福田 富生 (台町自治会)
  - 大久保 義夫 (北東自治会)
  - 橋本 貞寛 (愛宕みどり会)
  - 宮下 辰雄 (勝田自治会)
  - 細谷 光子 (勝田台一丁目西自治会)
  - 毛利 幸子 (小板橋北町会)
  - 齋藤 好一 (高津東自治会)
  - 村田 末信 (新島田町会)
- 〔注〕「防」は防犯部役員  
「防長」は防犯部長  
「編」は編集委員

八千代市防犯組合連合会の主な役員

- 会長 宮澤 宏之 (八千代台地区)
  - 副会長 寺木 善信 (高津・緑が丘地区)
  - 花島 博信 (大和田地区)
  - 村木 幹雄 (高津・緑が丘地区)
  - 松永 孝悠紀 (睦地区)
  - 片桐 弘司 (阿蘇地区)
  - 高橋 昭 (村上地区)
  - 福田 浩司 (八千代台地区)
  - 中村 三也 (勝田台地区)
  - 事務局長 五十嵐 正彦 (高津・緑が丘地区)
- 〔注〕「自」は自治会連合会推薦

各地区だより

大和田地区

「地区を五ブロック制とし組織強化」  
昨年度の自治連に続き自主防災にも、今年度より五ブロック制を採用。五ブロックとは、四十一自治会を「小板橋」「萱田町区」「大田」「ゆりのき台」「大和田新田」に分け責任者を置きブロック内の

情報の共有(自治連と自主防)と連携を密にする。同時に、これらを強力に推し進める為大和田地区内に事務局を設置。自治連の活動が各自治会にとつて意義のある組織になるよう活動して行きます。



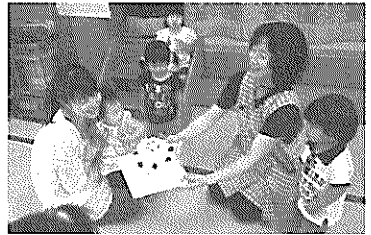
地域打ち合わせ会

今年度の立上げとして、7月14日大和田地区の会議を行いました。会議の冒頭地区会長より改めてブロックの運営の仕方が説明されました。その後初めて参加の方も多く全員自己紹介が行われました。議題としては9月に開催されます「市政懇談会」の議題を地域毎に纏めるよう提案され、参加者がブロックに分かれ打合せを行いました。

「防災に対する共通認識を持った一連に行動できる組織作り」  
大和田地区では今回開催した会議までに各自治会と非常時避難先の小・中学校の避難場所の予定先を提出して頂き、学校毎に集約しました。皆さんから出されました非常時避難先は次の9校、大和田小学校、大和田南小学校、大和田中学校、大

和田西小学校、萱田小学校、萱田中学校、東高津中学校、高津中学校になりました。避難先が数校に渡る自治会も多くある為、学校毎に代表になる担当自治会案を決め今後学校との連携強化を図り避難場所の運営に協力出来る体制にしました。又同時に大和田地区内の八千代市自主防災組織連絡協議会との連携を一層深める事にしました。

「地域内で定着してきた子育て支援活動」  
以前にも報告しました、大新下地区で八千代市子育て支援センターのびのびと協働で開催している「みんなの広場」は地域の方に好評で月に一回または二回の開催ですが、毎回初参加の方も多く、子供お母さん合わせ、多いときは80名を越える方が楽しみに参加されています。毎月最後に開催されているお誕生日会は特別にお子様楽しんでにしています。このみんなの広場では、毎回参加されるお母さんが交代で絵本の読み聞かせやゲームの指導もして頂いています。



みんなの広場誕生会

高津・緑が丘地区

緑が丘ロースハーツふれあいフェスタの紹介  
平成16年にスタートしました、このフェスタのコンセプトは「八千代緑が丘駅近隣に住まいや職場を持つ人同士が、八千代市の花「バラ」を通じて交流の場を持ち、ふれあいの輪(和)を広げ、親しみのもてる明るくて安心な街創りの礎となるような地域イベントを目指す」ということで、第1回から今日まで変わっていません。



駅前ロータリーや南口のバラが満開となる時期に合わせて、毎年5月末の土日にかけて開催してきました。開催当初はイオンや公園都市プラザもなく、駅前広場の整備もこれからという時期でした。北口の木製階段の踊り場をステージに見立てたミニコンサート、南口広場はフリマと数軒の模擬店と誠に手作りの素朴なフェスタでした。北口ロータリーにバラを植え、育ててくれている「八千代花と緑の応援団」という青年たちのグループがフェスタを開きかけを作ってくれました。地元自治会・支会・長寿会・子供会等の有志が呼び掛けに応じて実行委員会が形成され、緑が丘南自治会も協賛団体に名を連ねております。

イオンが新店し、北口に公園都市プラザが完成し、ホテルも開業と、駅前周辺の開発が進むに従って、フェスタの内容も進化(?)していきましました。土曜日は夕刻から前夜祭と銘打って、ワインとミニコンサートを楽しみながら、ライトアップされたバラを愛でる大人のフェスタ。日曜日は南口広場にフリマ・模擬店が展開し、特設ステージでは地元の保育園児を始め、小・中高生や長寿会・サークルの演技を楽しむというスタイルが定着してきました。動物専門学校や企業の提供による日曜大工コーナーも人気の定番です。

今年、数年前より好天に恵まれ、5000人を越える人々が集まってくれました。ようやく地元の人々として認知されてきたかの手ごたえも感じない大災害が発生しました。開催自粛の声もありましたが、災害から一歩ずつ復興を進めている東日本地域の方々に対して、出来る限りの支援を送ることを目的にし、「がんばろう!日本」東日本大震災復興支援イベントと銘打って開催しました。多くの方々の支援をいただき、協賛金の一部を合わせ、日本赤十字を通じて義援金を送りました。今年も「バラの花咲く街から日本中に元気を送ろう」をキャッチフレーズにし、募金も継続しました。

あれやこれやと試行錯誤を重ねながら回を重ねてきましたが、趣旨に賛同してくださる、地元団体・企業も年ごとに増え、今や60もの団体・企業様から協賛いただいております。昨年からの「1%支援制度」の対象団体の仲間にも入れていただきました。

洗面化粧台の下で水漏れしている。蛇口からポタポタ水が漏れている。トイレが詰まって流れない。

**こんな時、おまかせください。**

当社は水周りのホームドクターとして、ベテランスタッフが地元ならではのサービスを迅速丁寧に提供させて頂いております。

**株式会社長岡工作所**  
八千代市上下水道指定工事店 八千代市萱田 2285 番地

TEL 047(483)4051  
FAX 047(484)9047  
http://www.109.gr.jp/nagaoka/  
当社は地域安心ネット109の会員です。

安心という  
明日をお約束します

**北総警備保障株式会社**

取締役社長 宮崎 武則

八千代市緑が丘1-1-1  
TEL 047(480)0708 FAX 047(480)0688

八千代市に  
「選べる4つの葬儀式場」

- ①家族葬・一日葬専用式場 **Attain** 勝田台ホール
- ②こだわりの家族葬 **こころのいおり 慈順庵**
- ③八千代中央駅より徒歩3分 **Attain** ゆりのきホール
- ④福祉葬プラン **安宅記念会館**

株式会社 **安宅**  
TEL 0120-76-9494

睦地区

じてはいますが、課題も山積しています。来年が10回目という節目になります。

第27回「福祉祭り・むつみ」開催

例年に増しても猛暑というより酷暑の中、第27回「福祉祭り・むつみ」を7月28日(土)に睦スポーツ広場に開催、事前の打ち合わせを数回、又市場への買い出し等々の準備をしながら当日を迎えました。

き取り等々皆で手分けして行い、各部署へ配置を行います。こまめに来ると準備の方は、だいたい完了します。

次は、本番に向けての段取りに入ります。今年はおみやげの売店・おもちや売り場・金魚・かき氷・フランクフルト・焼きそば・焼き鳥・たこ焼き・キウウリの一夜漬け・射的・ヨーヨー・綿菓子等々の売店が並びます。ここで綿菓子担当のYさんの事を少々述べさせていただきます。綿菓子は、にわか勉強では中々箸に上手に綿菓子が巻きませんがYさんは、かなり前に駆動式で出来ないものかと考えに考え試行錯誤の末、綿菓子が上手に巻き付くような機械を考案して、祭りの時は大活躍をしています。おかげで担当区長は出る幕がない様な状態です。

た大勢子供たちが参加して楽しんで頂き子供達にとつてはいい思い出ができたのではないかと考えているのは小学生だけか？

式典終了後は、盆踊りに入っていきますが、今の若い皆さん方は踊りに加わって頂けなくて踊りをされる方が年々高齢になって踊る方が少なくなってきたのが今後の課題になるのではないかと思います。何れにしても、朝早くから超ハードな一日ですがこれも又楽しみなかな。



阿蘇地区

「米本神社大祭に向けて」

阿蘇地区は従来の農村地区から新興住宅地まで27地区の自治会等により構成されてお

により米本区連合自治会(米本区)が構成され歴史的な行事を行っている。その一つが米本神社大祭である。

大祭は5年に一回(今年から4年に一回)行われているが、12の地区が一致協力して行う最大行事である。今年はその開催の年で、開催日は10月6日(土)・7日(日)に決定している。昨年11月に米本区長を委員長とする大祭準備委員会が設立され、各地区及び妙見会や囃子連から選出された委員がそれぞれの役割分担ごとに既に活動を開始しており、今年度に入ってから名称を大祭執行委員会に改称し、各地区の自治会役員等も加わり準備が本格化してきている。

さて、祭りの一大イベントは神輿渡御であるが、米本区の各地区を二日間わたり巡行する。神輿の担ぎ手は妙見会を中心とした地域の若者で、山車・花車では囃子連が笛・太鼓や踊りで華やかにしている。

神輿が通る道路沿いでは、樹木枝の伐採や草刈り等を地区総出で実施し、祭りの前日までにしめ縄・幣束が飾られ神輿が来るのを待つ。神輿渡御の順路は、6日午前10時10分に国道16号を横断し、阿蘇農協及び阿蘇小学校で小休憩、上宿で昼食。午後は12時40分に担ぎ下宿で小休憩、2時10分に稲荷神社で大休憩、午後3時50分に日宮神社で小休憩、午後5時30分に逆水の平戸橋で収め夕食となる。二日目は午前10時45分に国道16号米本団地南交差点付近からスタートです。浅間神社で小休憩、辺田で昼食。午後は1時30分に担ぎ2時40分に城橋(昔、ここから米本城が望めたのだろうか)で大休憩、砂戸で小憩、午後5時に内宿で夕食となる。午後7時25分に国道16号を縦走り午後8時に米本神社に収めることとなる。それぞれの休憩所や昼食・夕食会場では、その地区の皆様のご協力により料理やお酒等の飲み物が準備される。また、米本神社は国道沿いにあるので、神

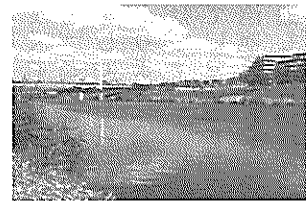
奥の出入りに際しては警察署等関係機関の方々の協力をいただき一時的に国道を通行規制しなくてはなりません。また、県道や市道においても片側通行や一時通行止めをさせていただくなど、大勢の皆様のご理解ご協力をいただいている。

村上地区

「栄町町会50周年」

現自治連会長が会長を務めている「栄町町会」は、今年6月17日(日)、同町会館(当時の会員及有志の出資で建設)に於いて創立50周年記念式典が豊田市長を迎え盛大に行われました。益々の発展を祈念します。

面とする地域及び村上団地からなります。ここで言う「村上地区」には広大な上高野も含まれています。東は全て佐倉市との境界です。



新川：花見川へつなぐ大和田機場付近から上流村上方向

「村上地区をふり返る」ここでは、私見を交え村上地区を紹介いたします。村上地区の地勢は、大和橋付近の一部(通称「下町」)を例外として新川の左岸(16号寄り)(古く花見川へつなげるまでは右岸)の低地から高台にあり、古代から新川(旧名「平戸川」印旛沼へ)の恵みで栄えた所です。地名的には、宮内を北面として中郷を経て近年発展した村上駅周辺から下市場・勝田台北の基本的に京成線を南

(自治会の生い立ち) 冒頭に記したとおり 栄町町会が創立50周年、発足の昭和三十七年(1962年)は、八千代はまだ町で、勝田台駅も無い(地名・勝田)時代です。一方で、最も新しい「テクノタワー勝田台17自治会」は半年前の発足ですので、当地区は半世紀に亘り自治会が創立されて来ています。

郷土の発展と共に歩む 創業昭和2年 建築・設計・施工 周郷建設株式会社 会長 周郷紀男 代表取締役社長 周郷寿雄 八千代市大和田新田406 TEL 047-450-3024(代) FAX 047-450-0576

海鮮うまいもんや 勝田台店 Tel. 047-484-7147

川城建設 株式会社 本社：八千代市大和田112 営業所：千葉市花見川区大日町1330-1 注文住宅 増改築・リフォーム 分譲住宅 お問い合わせ 0120-482-558 http://www.kawashiro.co.jp/ 建設業知事許可(特-24)第2587号



き、家屋の少ない当時の自治会立ち上げの原動力は、よい意味のボスの存在がうかがわれます。この点は、宅地開発に伴い不動産業者の協力で発足する、或は、街誕生後、防犯灯の必要性などから自治会を立ち上げる現状との違いを感じます。

自治会の課題

自治会の課題は、①多くの賃貸集合住宅在住者の「自治会未加入」の扱い②社会環境の変化に伴う会員の脱会③役員候補者の不足、などがあります。それへの地道な対応、絆の持続へ、努力が欠かせません。

あとかき

村上地区は近年発展しましたが、域内には宮内の七百餘所神社(しちひやくよしよじんじや)とその周辺、村上駅に近い根上(ねのかみ)神社等々、千年単位の史跡もある地です。

恒例の夏祭り開催

盛夏の候、下市場の7月15日を皮切りに栄町21日(土)・22日(日)、村上団地及び上高野原連合の二会が27日(金)・28日(土)、台町が28日(土)と、各会が賑やかに夏を彩りました。

八千代台地区

「北東自治会夏祭り」の紹介

私達の北東自治会

は、八千代台北十丁目から十七丁目までが自治会エリアです。会員世帯は約2,230世帯を越え八千代市の中心自治体組織としては大きな方ではないかと思えます。運営としては地域を十四分会に分け各分会長を始め各班長を中心に活動を行っています。年間行事としては、2月は北東寄席、5月にはゴミゼ口運動、6月には音楽祭、防犯パトロール、7月は北東自治会最大行事である夏祭り盆踊り、11月は秋祭り文化祭、12月は歳末パトロールを行っています。盛沢山の行事です。すべての行事を成功させる事が会員同志の絆を育み太くするものと確信をし会員相互の協力のもと活動を進めています。今回は当自治会最大のイベントと位置付けている夏祭りについて報告をさせていただきます。

恒例の夏祭り盆踊りは関係各位の協力により今年度も八千代中学校の協力を戴き中学校校庭に於いて7月28日(土)晴天のもと無事故で開催する事が出来ました。スタッフは200名、入場参加者は約2,200名、盛大な祭りとなりました。祭りの特長は学校の協力で中学校の生徒も参画し地域の大人と一緒に協力しながら推進をしていくスタイルです。今回は各売店ブースに62名の生徒が自分

の希望するブースに入り、お神輿に10名、吹奏楽は44名、美術部12名、合計128名が参加しています。特に神輿は前もって組立練習を行い本番は生徒自身が組立て神輿巡行の運営を行いました。150名程の子供達が会場内を練り歩き大変な喜びようでした。売店ブースは18ヶ所ありすべてが会員の皆さんが運営、その中に62名の生徒の皆さんが入り地域の大人と一緒に販売運営を行って、大きな声を出しながら、イベントを盛り上げていました。吹奏楽のメンバーは日頃の練習の成果をいかんなく発揮し、ご来場の皆さんに沢山の拍手を戴いていました。美術部の皆さんは、各お店のポスターの作成を担当し素晴らしい絵と文字で作成して戴き、売店前に掛けました。アンケート担当のメンバーは3人一組になって、200名の方々よりアンケートを戴いてくれました。次の祭りの参考資料として活用して行きます。分会役員の皆さんは毎年変わりほとんどの方が初めての店舗体験です。そんな中皆さんで話し合い協力し合って販売の完売を目指し生徒と大人が一緒になって頑張っているお祭りは八千代広しといえども他のどの地域にもないと思えます。ひと夏の思い出ではなく子供達は大人のかかわりの中で沢山の事を学んでくれたものと確信します。未来の宝の子供がどんどんと成長して行かれる事を願い、中学校の校長先生をはじめ諸先生方に感謝しつつ報告とさせていただきます。



勝田台地区

「勝田台地域自主防災連合会」を立上げ

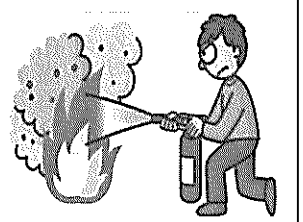
勝田台地域では、「勝田台地域自主防災連合会」を立上げ、計画的かつ組織的な地域の防災体制を確立、自然災害に備えた防災活動を強化しようと思えます。

組織化の狙い

昨年の3・11東日本大震災の経験を踏まえ、更には首都直下型大地震がいつ発生してもおかしくないと云われる環境の中で、各地、各組織で防災体制の見直し、強化が実施されています。当地域においても、防災体制の強化が求められ、新しい課題も提起されていますが、従来の仕組みではこれらへの対応が困難になってきました。

- (1)教育委員会などから新しい課題が提起されています。
災害発生時の避難所(小・中学校)開設の決定(校長・地域の代表)
避難所(小・中学校)の鍵の保管並びに管理運営(校長・地域の代表)
災害発生時の児童生徒の保護者への引渡しの応援

- (2)八千代市自主防災組織連絡協議会(勝田台地域)では、地域の自主防災会を取りまとめているが、組織的な運営は残念ながら難しい状況にあると見受けられます。
当地域には23の自治会が存在するが、自主防災会を有するのは11自治会に留まっています。(平成24年3月末現在)
上記協議会の勝田台地域担当副会長をバックアップする地域の組織が存在しないこともあり、活動がほぼ個人プレーになり、負担が過大になるなどの問題点を抱えているように窺われます。



編集後記

24年5月27日(日)に、24年度自治連の総会、何事も無く無事乗り切り、24年度新役員(編集委員)による「自治連だより」の第1回の編集会議がひらかれました。

その席で、新しい役員さんから、「自治連だより」本当に読んでいる、見てくれている人がどの程度いるのかという質問と今迄に出来上がった物だったら殆どの人は見えてないだろうという意見(問題提起)が出された。現在の紙面になったのが3年前で、前年の役員さんからの引継ぎで、「読んでくれて、見てくれる」紙面作りをして欲しいということ、最終的に「広告掲載」で資金を捻出し紙面の拡大をした我々(当時の編集委員)としては、毎回、満足はしてはいないが「なんとか、掲載文章の内容や文字数の増減とその都度現場(編集会議)で「喧嘩譚」全員で議論をして作っていたので、ちょっととした「カルチャーショック」でした。しかしながら、この意見「無視できないこと」又、聞くことも大事なことと判っていました。最初から読んで、見てくれる物を作っている」と気色ばみ、反論をしてしまった場面もありましたが、今年度は、こういう見識を持っている仲間と一緒に「自治連だより」の紙面を通して各地区の情報をお伝えできるように編集委員全員で精進していきますと同時に、広告主の皆様の期待にこたえられるような紙面を目指します。

末広自動車工業株式会社
代表取締役 小野尾 忠一
〒276-0046 八千代市大和田新田195
☎047(450)3817
なんでもサービス おたすけします
便利屋 おたすけ隊
隊長、以下各職人がいます。
八千代台東 5-13-20 TEL.482-8664

こんな時当店におまかせ下さい
出産内祝 御中元 御歳暮
快気祝 御祝全般 婚礼引出物 弔事返礼品
シャディ 作楽館 ゆりのき台店
営業時間:AM10:00~PM6:00 〒276-0042
定休日:年中無休(夏期・冬季休暇を除く) 八千代市ゆりのき台5-17-1
TEL:047-480-7720 FAX:047-481-2070
http://www.shaddy.gr.jp/34253-900/

うまさへの挑戦 焼肉 ファミリーレストラン
元祖情熱ランチ 500円
ライス・スープ・サラダ 漬物茶巾付
勝田台店
住所:八千代市勝田台1-13-12
TEL:047-484-4129